



news 2013, 79cm x 109.5cm, color pencil on paper  
©Etsuko Watanabe. Courtesy of Yumiko Chiba Associates Photo: 柳場大

## 渡辺えつこ “picture in picture”

会期：2014年2月1日（土） - 2月28日（金）

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

トークイベント：2月15日（土）17:30 - 19:00 ゲスト：母袋俊也（画家、東京造形大学教授）

オープニングレセプション：2月1日（土）18:00 - 20:00

2014年2月1日（土）より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku にて、渡辺えつこ個展“picture in picture”を開催いたします。

渡辺えつこは、アパートメントや地下鉄の構内、室内に置かれた鏡といった、デュッセルドルフや東京の現実的な都市風景の一場面を写実的に描きながら、それらのなかに叙情的な空や光、ときに 大胆な幾何学模様などの非現実的な要素を配置し、一枚の絵画の中に具象と抽象を併存させる作品を発表してきました。

「picture in picture」という手法を主題化した本展では、モチーフに選んだ「TV」という構造を持つ属性を利用し、絵画は如何様にも非現実であることと、我々の身体的な視覚認識は極めて曖昧なものであるという前提を独自の視点で交差させることで、私達一人一人の現実認識の在りようを問いかけます。

国立デュッセルドルフ芸術大学でゲルハルト・リッターに師事し、以来、約 30 年間に渡りドイツを拠点に活動していた渡辺の、帰国後初となる個展です。ぜひ、ご高覧ください。

### ■トークイベント 渡辺えつこ×母袋俊也（画家、東京造形大学教授）

2月15日（土）17:30 - 19:00 \* 事前予約制

#### 【お申し込み方法】

件名「渡辺トークイベント」、お名前、電話番号をご明記のうえ、[event@ycassociates.co.jp](mailto:event@ycassociates.co.jp) までお申し込みください。

\* 定員（25名）になり次第、受付を終了いたします。ギャラリーから返信メールが届かない場合は営業時間内にお問合せください。



## ■ステイメント

「picture in picture」という言葉をネットで検索してみると、「テレビ画面の中の第2の小さなテレビ画面」などの説明がある。西洋絵画史では絵を読み解く時によく登場する概念で、日本では「画中画」と呼ばれ、古くは17世紀のオランダの室内画で語られるが、その他では画中の窓や鏡がこれに相当する。それは画面上にある開口部でもあり、光が入るといった窓の特性から「過去の回想、未来の展望」と言う意味を持っているとのことである。

今回はテレビから流れるニュースの画像を扱い、「picture in picture」というテーマで展開してみた。ニュースとして流れる画像の中には、肖像権や個人情報といった背景から、画像にフィルターが掛けられたり、様々なテロップや音声による言葉の説明が加えられて提供される情報がある。それらを静止画として見た時に、フィルターにより抽象形態化した光や幾何学形態、そして具象物、文字などの対立する要素が重なり合い、すでに視覚的な情報としては成立しなくなっている。こういった画像が、私の目にはアンバランスな奇妙な絵として映る。またあるときには画像の不鮮明さによって対象物が突如として抽象化してしまったような奇妙な画像にもお目に掛かる。こういった奇妙な画像の連なりを、我々は日頃、動画で情報として受け取っている。

こういった画像をモチーフに写真を媒体として、キャンバス上にテレビを静物として描く。そこでは写真の「静」と画中に描かれたモニター上の「動」画を扱うことになり、液晶画面の画像は物では無くそこから発せられる光を描いていることになる。

テレビ/Televisionとは遠方を観る機械という意味を持つ。そして、ここでまた、光の入ってくる画面上の窓として符合してくるのである。

2014年1月 渡辺えつこ

## ■渡辺えつこ プロフィール

- 1960 東京に生まれる
- 1982 武蔵野美術大学油絵学科卒業  
国立デュッセルドルフ芸術大学絵画科入学、ゲルハルト・リヒターに師事
- 1985 マイスターシューラー取得
- 1987 国立デュッセルドルフ芸術大学卒業
- 2013 ドイツより帰国、東京在住  
現在、武蔵野美術大学非常勤講師

### [主な個展]

- 2011 Kunstraum Düsseldorf(デュッセルドルフ、ドイツ)
- 2003 オン ギャラリー(大阪)
- 2001 Galerie Wolfram Bach(デュッセルドルフ、ドイツ)
- 2000 Galerie Schütz(フランクフルト、ドイツ)
- 1999 オン ギャラリー(大阪)
- 1998 Galerie Wolfram Bach(デュッセルドルフ、ドイツ)
- 1997 Galerie Friese(ミュンヘン、ドイツ)  
オン ギャラリー(大阪)  
International Führungszentrum Feldafing(ミュンヘン、ドイツ)  
Roland Galerie(ケルン、ドイツ)
- 1994 Galerie Bach & Gayk(ポーフム、ドイツ)
- 1993 「第2回海外新進日本人作家紹介展」資生堂ギャラリー(東京)
- 1992 Galerie Bach & Gayk(ポーフム、ドイツ)

### [主なグループ展]

- 2009 「静寂と色彩展」川村記念美術館(千葉)
- 2002 「Kunst im Krankenhaus Benrath」Kliniken der Landeshauptstadt Düsseldorf(デュッセルドルフ、ドイツ)
- 2000 「die farbe hat mich」Künstlerhaus Dortmund(ドルトムント、ドイツ)  
「Stadt Land im Fluss」Kunst + Kultur Verein Alte Schule Baruth(ベルリン、ドイツ)
- 1999 Kunstraum Düsseldorf(デュッセルドルフ、ドイツ)
- 1995 「Landschaft! Natur / Stadt」Kunstsammlung der Ruhr-Universität Bochum(ポーフム、ドイツ)  
「VOCA展」上野の森美術館(東京)
- 1994 「Zu Besuch in der Lindenstr.」\*アートプロジェクト・キュレーション
- 1993 「junger westen」Kunsthalle Recklinghausen(レックリングハウゼン、ドイツ)
- 1987 「Kunststudenten stellen aus」Bonner Kunstverein(ボン、ドイツ)
- 1986 「Treibhaus 4」Kunstmuseum Düsseldorf(デュッセルドルフ、ドイツ)

### [パブリックコレクション]

Pfizer Pharma GmbH、SIEMENS AG / International Leadership Center Feldafing、ROLAND Rechtsschutz-Versicherungs-AG  
資生堂

---

**【本展に関するお問合せ】**ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ 展覧会担当:鈴木孝史 広報担当:福田  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#316 [Tel]03-6276-6731 [e-mail]info@ycassociates.co.jp  
[website]www.ycassociates.co.jp [営業時間]12:00-19:00 [定休日]日・月・祝日